

耐震診断結果公表

■ホテル、旅館

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	ファミリースクールひまわり	夕張市鹿の谷山手町18	ホテル					
	校舎棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is _o = 0.61 (1.00) CTU・SD = 0.36 (0.27)	補強設計	平成34年度中	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	屋内体育館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	Is = 0.14 (0.60) q = 0.56 (1.00)	補強設計	平成34年度中	
	柔剣道場			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	Is = 0.51 (0.60) q = 2.05 (1.00)	補強設計	平成34年度中	
					耐震改修	平成35年度～平成36年度		
2	北海道グリーンランドホテルサンブラザ	岩見沢市4条東1丁目6-1他、5条東1丁目4-1他	ホテル	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is _o = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.56 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 法第5条第3項第1号※2
3	ホテルスエヒロ	滝川市明神町2丁目2-16	ホテル					
	ホテル棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が非充腹材の場合)	Is/Is _o = 0.44 (1.00) CTU・SD = 0.16 (0.25)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 Rt=0.993
	別館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	Is = 0.28 (0.60) q = 1.14 (1.00)	未定	未定	
	宴会場棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	Is = 0.08 (0.60) q = 0.33 (1.00)	未定	未定	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■ホテル、旅館

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
4	ホテル三浦華園	滝川市花月町1丁目2番26号	ホテル					対象外部分(新耐震):客室別館
	①棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	Is = 0.10 (0.60) q = 0.42 (1.00)	未定	未定	
	②棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 0.57 (1.00) CTU・SD = 0.28 (0.27)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	③棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 0.77 (1.00) CTU・SD = 0.45 (0.27)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	④棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is0 = 0.50 (1.00) CTU・SD = 0.24 (0.27)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	⑤棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	Is = 0.35 (0.60) q = 1.45 (1.00)	未定	未定	
5	ホテルグランテラス千歳	千歳市本町4丁目4番地4、4番地7	ホテル					対象外部分(新耐震):別館
	本棟 (ホテル棟)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が充腹材の場合)	Is/Is0 = 0.81 (1.00) CTU・SD = 0.37 (0.23)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 Rt=1.0
	機械棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	Is = 0.16 (0.60) q = 0.66 (1.00)	未定	未定	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

■ホテル、旅館

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
6	第一滝本館 西館	登別市登別温泉町55番地	ホテル					対象外部分(新耐震):本館棟、佳水館棟、大浴場棟 法5条第3項第1号※2
	西館1階から10階 RC造			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	Is/Iso = 1.03 (1.00) CTU・SD = 0.58 (0.27)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0 耐震改修工事終了
	西館B1階、B2階 RC造			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	Is/Iso = 1.06 (1.00) CTU・SD = 0.60 (0.27)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0
	西館北側PH階 X方向 RC造			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	Is/Iso = 1.06 (1.00) CTU・SD = 0.60 (0.27)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0
	西館南側PH階 X方向 RC造			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	Is/Iso = 1.37 (1.00) CTU・SD = 0.77 (0.27)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0
	西館下屋B1階 RC造			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 2.32 (1.00) CTU・SD = 1.68 (0.27)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0
	西館北側PH階 Y方向 RC造			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	Is/Iso = 5.94 (1.00) CTU・SD = 3.35 (0.27)	-	-	
	西館南側PH階 Y方向 RC造			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	Is/Iso = 1.89 (1.00) CTU・SD = 1.06 (0.27)	-	-	
	西館下屋B2階 RC造			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	Is/Iso = 2.51 (1.00)	-	-	
西館下屋1階 S造			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	Is = 0.85 (0.60) q = 1.49 (1.00)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0 耐震改修工事終了	
7	第一滝本館 東館・南館	登別市登別温泉町55番地	ホテル					対象外部分(新耐震):本館棟、佳水館棟、大浴場棟 法5条第3項第1号※2
	南館高層棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.27 (0.27)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0 耐震改修工事終了
	南館低層棟		Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.58 (0.27)					
	東館		Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.56 (0.27)					
厨房棟			一般財団法人建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・同解説」(2009年)及び「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」(2001年)に定める「第2次診断法」	Is/Iso = 1.05 (1.00) CTU・SD = 0.60 (0.27)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0 耐震改修工事終了	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■ホテル、旅館

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
8	登別グランドホテル 南館・新本館	登別市登別温泉町154	ホテル					法第5条第3項第1号※2
	新本館・1～9階 (SRC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が充腹材の場合)	Is/Is _o = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.24 (0.23)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0 Rt=1.0 耐震改修工事終了
	新本館・地下1階 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is _o = 1.14 (1.00) CTU・SD = 0.66 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0
	南館・1～6階 (PH1～3階、RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is _o = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.43 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0 耐震改修工事終了
	南館・1～6階 (PH4、5階、RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	Is/Is _o = 1.59 (1.00)	—	—	
	南館・1～6階 (PH4、5階、S造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	Is = 0.75 (0.60) q = 2.98 (1.00)	—	—	耐震改修工事終了
	大浴場			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	Is/Is _o = 1.12 (1.00)	—	—	
9	パークホテル雅亭	登別市登別温泉町100	ホテル					
	第I期・1階～10階 (SRC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が充腹材の場合)	Is/Is _o = 0.36 (1.00) CTU・SD = 0.18 (0.22)	耐震補強設計	平成31年3月～平成32年2月	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0 Rt=0.972
	第I期・地下1階～地下2階 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is _o = 0.57 (1.00) CTU・SD = 0.33 (0.27)	耐震補強設計	平成31年3月～平成32年2月	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0
	第II期・地下1階～8階 (SRC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が充腹材の場合)	Is/Is _o = 0.50 (1.00) CTU・SD = 0.17 (0.23)	耐震補強設計	平成31年3月～平成32年2月	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0 Rt=1.0
10	望楼 NOGUCHI 登別	登別市登別温泉町 200-1 200-4 200-5 200-6	ホテル	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が非充腹材の場合)	Is/Is _o = 0.46 (1.00) CTU・SD = 0.26 (0.24)	耐震補強設計	平成29年度	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.0 Rt=0.97
						耐震改修	平成30年～	法第5条第3項第1号※2

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■ホテル、旅館

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
11	ホテルゆもと登別	登別市登別温泉町29-1	ホテル					法第5条第3項第1号※2
	地下1階・4～8階 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is _o = 1.09 (1.00) CTU・SD = 0.63 (0.27)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	1～3階 (SRC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が充腹材の場合)	Is/Is _o = 1.14 (1.00) CTU・SD = 0.52 (0.23)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 Rt=1.0
13	洞爺サンパレス 本館 (A・B・C棟)	有珠郡壮瞥町字洞爺湖温泉7番地1 他	ホテル					
	地下1階～10階 (RC造部)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が充腹材の場合)	Is/Is _o = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.44 (0.23)	-	-	耐震改修工事終了
	PH階 (RC造部)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is _o = 1.58 (1.00) CTU・SD = 0.92 (0.27)	-	-	耐震改修工事終了

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■ホテル、旅館

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
14	洞爺湖温泉観光ホテル	洞爺湖町洞爺湖温泉33番地	ホテル					対象外部分(新耐震):パノラマ大浴場棟、宴会場・レストラン棟
	A棟(東館)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is _o = 0.50 (1.00) CTU・SD = 0.30 (0.27)	耐震補強設計	平成30年度	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
						耐震改修	平成32年度～平成34年度	
	B棟(西館)・3～8階(RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is _o = 0.46 (1.00) CTU・SD = 0.27 (0.27)	耐震補強設計	平成30年度	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
						耐震改修	平成32年度～平成34年度	
	B棟(西館)・1,2階(SRC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が充腹材の場合)	Is/Is _o = 1.27 (1.00) CTU・SD = 0.59 (0.23)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 Rt=1.0
C棟(調理・バー・従食等)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is _o = 0.88 (1.00) CTU・SD = 0.40 (0.27)	耐震補強設計	平成30年度	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00	
					耐震改修	平成32年度～平成34年度		
	D棟(洞窟温泉)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is _o = 0.92 (1.00) CTU・SD = 0.68 (0.27)	耐震補強設計	平成30年度	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
						耐震改修	平成32年度～平成34年度	
15	洞爺 湖畔亭	虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉7-8,7-9,7-16	ホテル	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が充腹材の場合)	Is/Is _o = 0.64 (1.00) CTU・SD = 0.26 (0.22)	耐震改修等	平成30年	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 0.97 対象外部分(新耐震):東館
16	洞爺湖万世閣ホテルレイクサイドテラス	虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉13番地4他	ホテル	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)、一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が充腹材の場合)	Is/Is _o = 0.54 (0.54) CTU・SD = 0.30 (0.23)	-	-	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 1.0 耐震改修工事終了
17	乃の風リゾート	虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉29-1,29-3,29-5	ホテル					対象外部分(新耐震):東館
	RC棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is _o = 0.78 (1.00) CTU・SD = 0.45 (0.27)	耐震補強設計	平成29年度	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
						耐震改修	令和2年度～令和3年度	
	S棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	Is = 0.01 (0.60) q = 0.01 (1.00)	耐震補強設計	平成29年度	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 Rt=0.98
					耐震改修	令和2年度～令和3年度		
	SRC棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が充腹材の場合)	Is/Is _o = 0.32 (1.00) CTU・SD = 0.18 (0.22)	耐震補強設計	平成29年度	
						耐震改修	令和2年度～令和3年度	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

■ホテル、旅館

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の 主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する 安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
18	国立日高青少年自然の家	沙流郡日高町富岡	研修施設					
	管理研修棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is _o = 1.65 (1.00) CTU・SD = 0.32 (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
	生活関連棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	Is/Is _o = 1.06 (1.00)	—	—	
19	層雲閣グランドホテル	上川郡上川町字層雲峡未定番地	ホテル					対象外部分(新耐震):アリーナ棟 法5条第3項第1号※2
	1号館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	耐震改修工事中	耐震補強設計	平成28年3月～ 平成29年2月	
	A本館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が充腹材の場合)	耐震改修工事中	耐震補強設計	平成28年3月～ 平成29年2月	
	B本館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is _o = 1.02 (1.00) CTU・SD = 0.57 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修工事終了
	調理館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	耐震改修工事中	耐震改修	令和2年5月～ 令和4年2月	
20	層雲峡観光ホテル	上川郡上川町層雲峡	ホテル					法5条第3項第1号※2
	本館6～9階 (RC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is _o = 1.02 (1.00) CTU・SD = 0.39 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修工事終了
	本館・1～5階 (SRC造)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が充腹材の場合)	Is/Is _o = 1.03 (1.00) CTU・SD = 0.40 (0.23)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 Rt= 1.0 耐震改修工事終了
	別館高層棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is _o = 1.11 (1.00) CTU・SD = 0.64 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修工事終了
別館低層棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is _o = 1.11 (1.00) CTU・SD = 0.52 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修工事終了	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■ホテル、旅館

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
21	ホテル大雪	上川郡上川町層雲峡	ホテル					法第5条第3項第1号※2
	東館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is _o = 1.03 (1.00) CTU・SD = 0.58 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修工事終了
	西館A棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is _o = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.56 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修工事終了
	西館B棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)※3	Is/Is _o = 1.18 (1.00) CTU・SD = 0.33 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 耐震改修工事終了
22	十勝川国際ホテル筒井	河東郡音更町字長流枝幹線31番地23,26、字長流枝1番地116,123	ホテル					
	A棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	Is = 0.12 (0.60) q = 0.64 (1.00)	未定	未定	
	B棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is _o = 0.42 (1.00) CTU・SD = 0.27 (0.30)	未定	未定	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
23	ホテル大平原	河東郡音更町十勝川温泉15丁目1番地	ホテル	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is _o = 0.48 (1.00) CTU・SD = 0.31 (0.30)	耐震改修	未定	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
24	ホテル福原	河東郡鹿追町然別湖畔	ホテル					
	一番館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is _o = 0.19 (1.00) CTU・SD = 0.12 (0.30)	補強設計 耐震改修	令和2年8月～令和3年2月 令和3年7月～令和4年10月	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00
	二番館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	Is/Is _o = 0.66 (1.00) CTU・SD = 0.40 (0.30)	補強設計 耐震改修	令和2年8月～令和3年2月 令和3年7月～令和4年10月	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

※3 「一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)(鉄骨が充腹材の場合)」を併用